

色とりどりの手作りたわし



J A女性部花泉中央支部家の光記事活用グループが作成した「アクリルたわし」を花泉町内のJ A支店などで展示しました。

認定農業者や新規就農者の9経営体が受講



一関農業改良普及センターは12月5日、農業経営の夢実現セミナーを開講しました。

地元食材の彩り弁当



J A全中主催のJ A健康寿命100歳弁当コンテスト『5色を食べて達者が一番』部門で室根やまびこ会の雑穀酢マイル弁当が「がんばったで賞」に輝きました。

巖美小（一関）の5年生は12月19日、稲作授業でお世話になったJ A職員を招き、感謝の会を開きました。

生き生きとした生活の基本は日々の食事から



J A女性部平泉中央支部は12月20日、同部員で栄養士の瀧澤エイ子さんを講師に低栄養の予防につなげようと、講義と調理実習を行いローストビーフやエビピラフなど4種類を作りました。

夕市感謝祭で芋の子汁をお振る舞い



高品質ネギの出荷を意識統一

J Aねぎ部会は12月14日、西部園芸センターで「一関特産 曲りねぎ やわらか美人」の目揃え会を行いました。



秋冬の野菜ふだんに



J A女性部花泉中央支部の地産地消活動グループは12月15日、野菜ソムリエプロ木村千恵美さんを講師に料理教室を行いました。

おいしいお米に感謝



日ごろのご愛顧に感謝して



ふれあい野菜市とAコープ花泉店純情館産直花泉は11月28日、大感謝祭を行い餅や甘酒を振る舞いました。

そろいの衣装で舞台華やかに



J A女性部一関中央支部弥栄支部と舞川支部は12月2日、一関文化センターで行われた第33回歳末助け合い市民芸能まつりに出演し、息の合った踊りを披露しました。

日頃の感謝を込めて



リンゴ収穫感謝祭を12月3日、J A西部園芸センターで開催しました。

健康長寿を願い鶴の小箱を贈呈



J A女性部一関中央支部は12月18日、J Aサービス付き高齢者住宅もちっこ入居者に手作りの小物入れをプレゼントしました。

農事組合法人おくとま農産は12月2日、収穫感謝祭を開き農機の展示や芸能発表、餅の振る舞いなどが行われにぎわいをみせました。



農事組合法人おくとま農産は12月2日、収穫感謝祭を開き農機の展示や芸能発表、餅の振る舞いなどが行われにぎわいをみせました。

実りに感謝

J A女性部一関中央支部中里支部は12月6日、今年度最後の夕市を開き、多くの地域住民が集まり盛りぶりをみせました。



三浦さん⑤の指導でシューマイ作りに挑戦

ヘルシー料理に挑戦

J A女性部一関中央支部真滝支部

J A女性部一関中央支部真滝支部は12月13日、料理講習会を開きました。部員22人が参加し、県食の匠^{たくみ}でJ A生活シーダーの三浦チエ子さんを講師に「豆腐のふわっとシューマイ」「朝鮮漬け」「人参ふりかけ」の3品に挑戦しました。小岩良子支部長は「習った料理を普段の食事に取り入れている人が多い。今後も楽しく活動し、さらに部員の交流を深めたい」と話しました。



児童のおもてなしに笑顔の佐々木さん⑥

米づくりに感謝の気持ち

収穫の喜びを分かち合う

金沢小学校(花泉)の5年生24人は12月12日、稲作授業の指導者を招き感謝の会を開きました。田んぼの先生で地元農家の佐々木弘さんやJ A職員などが参加。手作りのおにぎりともみそ汁を味わい、収穫の喜びを分かち合いました。高橋謙太郎君は「自分たちのお米のおにぎりは最高!」と笑顔。佐々木さんは「この経験から農業に興味を抱いてほしい」と期待を込めました。



常勤役員から内容の説明



貴重な意見・要望が出されました

J A経営基盤の維持・強化に向けて

各地区運営委員会を開催

J Aは12月8日から15日までJ A営農経済センターごとに地区運営委員会を開催しました。委員会は農家組合、青年部、女性部、年金友の会、生産部会、集落営農組織、准組合員の代表者で構成。J A自己改革の一部として今後の機能再構築への取り組みなどを説明し協議を行いました。今後もJ A経営基盤の維持・強化に向け、皆さまとの協議を重ね、J Aの自己改革を進めていきます。



協議会発足を承認した設立総会



協議会活動の意気込みを語る佐々木会長

年金受給者相互の親睦と融和を図る

J A年金友の会協議会設立総会

J A年金友の会協議会の設立総会を12月5日、J A本店で開きました。支部役員20人が出席し設立を承認。会長に佐々木源輔さん(一関地区)、副会長に千葉耕一さん(千厩地区)、菅原弘毅さん(花泉地区)が選任されました。協議会では、全体行事(ゲートボール大会・親睦旅行など)の企画・運営、支部活動の情報交換を行うほか、会員拡大に向けた取り組みを行います。